

# ノーサイド

北原巖男

皆さんの中でも、「このひとときがたまらん」、そんな方が多いのではないのでしょうか。さらに「コーヒーについては、私はチョットうるさいですよ」という御仁も。

そんなコーヒーは、これまでもガーンになるとか頭が悪くなるなどを、悪者扱いされて来ました。反対に、実は健康にとっても良い飲み物であることが最近の調査で分かった、飲まない人に比べてこれだけの違いがあるなど、勝手なことがいろいろ言われて来ています。

朝のコーヒータイム。部屋は、あの温かくふくらみを持った甘い香りに包まれています。まさに至福のとき。

このままではもったいない。玄関からそと外に出朝の空気をめいっぱい吸い込む。再び部屋に飛び込む。全身が抱擁され、身体じゅうに溶け込まれるような魅惑の香り。何たる幸せ!

「防衛ホーム」の読者の

コーヒー好きの人を強引に大別すると、飲むのが好きな人と、どちらかと言えは淹れる方が好きな人に分けられると思います。後者は、自分が淹れたコーヒーは、自分が淹れたコーヒーに對する相手の反応如何によつては、その日の自信・活力にも少なからぬ影響を受けかねません。

例えは、一口も口にする事なしに、コーヒーがサッパされるや否や、加減するそぶりなくミルクをドバドバと大量に入れる。そんな光景を目の当たりにすることがあります。

## たかがコーヒー

## されどコーヒー

「私の胃の方が傷つく」  
「傷つくなあ」  
「コーヒー淹れのキャリア」

「美味い!」  
「人の意見ばかり聞くから...自分はどうなのよ。大事なのは自分がどう思うかでしょ。それにしても今日のコーヒーは薄すぎるんじゃない?」  
「やっぱりそうか。僕もそう思った」  
「いつも意見を聞くばかりで、それが次に活かされて来ていないのよね。...ずっ」と

美味しいコーヒを淹れるべく沢山の本を読み漁り、ミル等の使用器材に拘り、更に拘りのコーヒカッブを温め、淹れ方に拘る。しまいますが、プロと言

ども道を極めることは至難の業、常に行きつ戻りつなではないでしょうか。  
「今日のコーヒーはど...」  
「美味い?」  
「人の意見ばかり聞くから...自分はどうなのよ。大事なのは自分がどう思うかでしょ。それにしても今日のコーヒーは薄すぎるんじゃない?」  
「やっぱりそうか。僕もそう思った」  
「いつも意見を聞くばかりで、それが次に活かされて来ていないのよね。...ずっ」と

「美味い!」  
「人の意見ばかり聞くから...自分はどうなのよ。大事なのは自分がどう思うかでしょ。それにしても今日のコーヒーは薄すぎるんじゃない?」  
「やっぱりそうか。僕もそう思った」  
「いつも意見を聞くばかりで、それが次に活かされて来ていないのよね。...ずっ」と

「美味い!」  
「人の意見ばかり聞くから...自分はどうなのよ。大事なのは自分がどう思うかでしょ。それにしても今日のコーヒーは薄すぎるんじゃない?」  
「やっぱりそうか。僕もそう思った」  
「いつも意見を聞くばかりで、それが次に活かされて来ていないのよね。...ずっ」と

「美味い!」  
「人の意見ばかり聞くから...自分はどうなのよ。大事なのは自分がどう思うかでしょ。それにしても今日のコーヒーは薄すぎるんじゃない?」  
「やっぱりそうか。僕もそう思った」  
「いつも意見を聞くばかりで、それが次に活かされて来ていないのよね。...ずっ」と

「美味い!」  
「人の意見ばかり聞くから...自分はどうなのよ。大事なのは自分がどう思うかでしょ。それにしても今日のコーヒーは薄すぎるんじゃない?」  
「やっぱりそうか。僕もそう思った」  
「いつも意見を聞くばかりで、それが次に活かされて来ていないのよね。...ずっ」と

「美味い!」  
「人の意見ばかり聞くから...自分はどうなのよ。大事なのは自分がどう思うかでしょ。それにしても今日のコーヒーは薄すぎるんじゃない?」  
「やっぱりそうか。僕もそう思った」  
「いつも意見を聞くばかりで、それが次に活かされて来ていないのよね。...ずっ」と

北原 巖男

(まだはいわお)

元防衛施設庁長官。元東

ティモール大使。現(一

社)日本東ティモール協

理 会会長。(公社)隊友会

理事